

北雪
美談
時代加見
新柳史
春

Gōkan: (No. 014)
Kagamiyama (Jadai Kagami)
Part 1. Book 1--19.

為永春水作
一壽齋國貞画

初編上

~ 13
3740
1



門へ13
3740
1

時 代



初編上
若手梓
春水作
國貞畫



北せつひきん 初巻の序

硯の池の東東へ朝寐の日記一渡つてより解け七の梅の空陶へ前夜の依ふ
比面して雪封たねど最寒一と明詠もどたふ獨座の一與是さく春の
目めけは昨日の鬼の門禮者も黒羽二重の折目よく三筋かまき小听ゆる
鳥追糸遊さる紙鳶の音白酒の声空船夫等も春の景物とおひへ
いもさんざり然べ僕も試筆紙と若水さく摺る墨ふりひ凝らるる一小
冊若林堂の箱の懇望外題もあちち北雪美談画組城時代小懋せんら
時代鏡と名号しん巻中も聊因りも岩藤尾上が後日のいづこそ又来も
歳の初賣城今うら急ぐ初仕入是を書房の店先へ吹込む春風作者が
拙らるるも一時の新案遣羽子よりもいづこも當つて落ぬ評判は婦知
稚兒達小願りんと手鞠拍子小序文くら先祝儀城かゝ記しん

嘉永八檢卯の春葎市

黄四 爲永春水述也

寺へ刀



岩の
亡霊

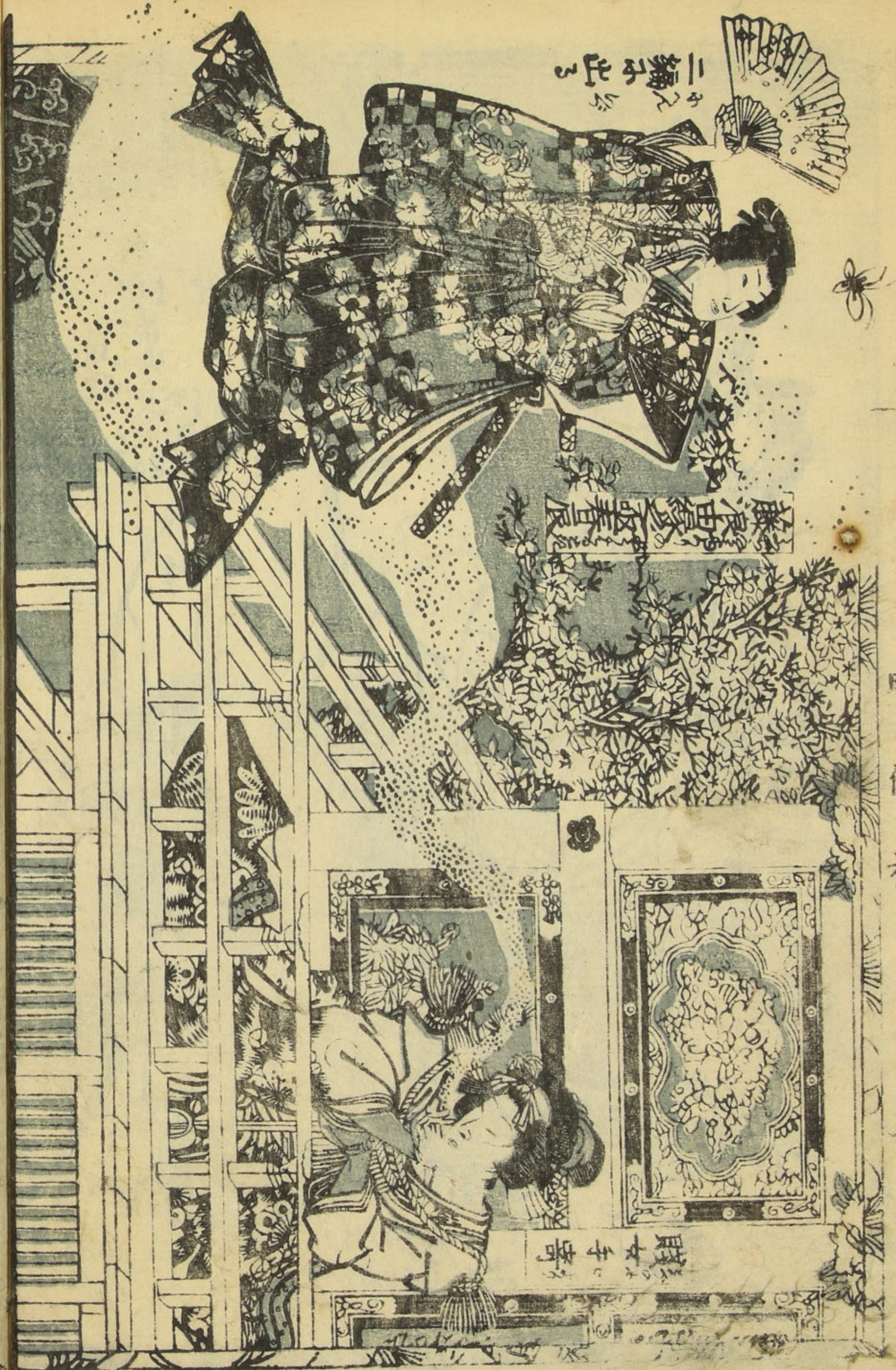
湯尾刀監
連道子
同苗安波太郎
敦連
二編の
出

初浦
屋上助
忠次



當家の
一族

多賀
大領
正方



二編子出

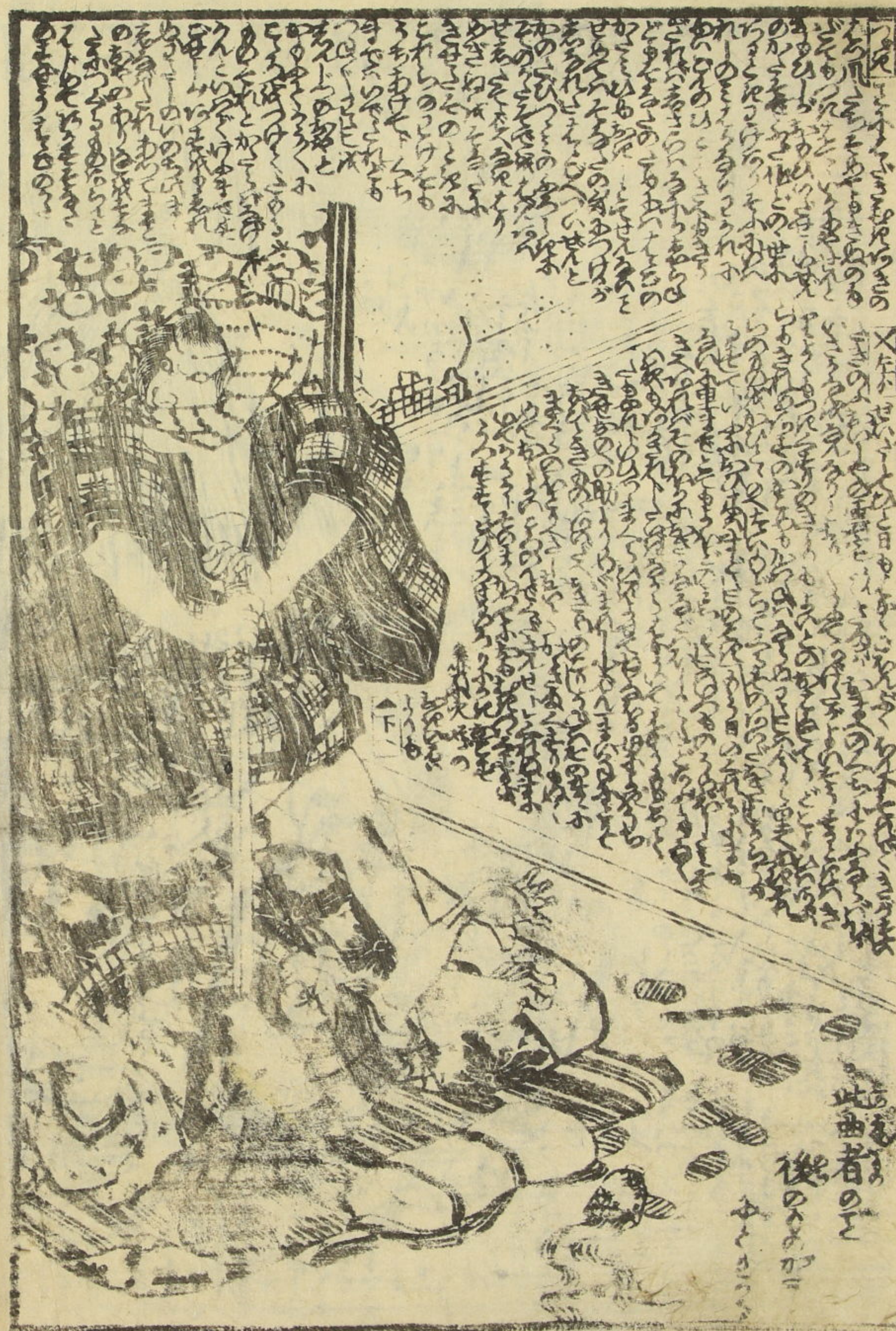
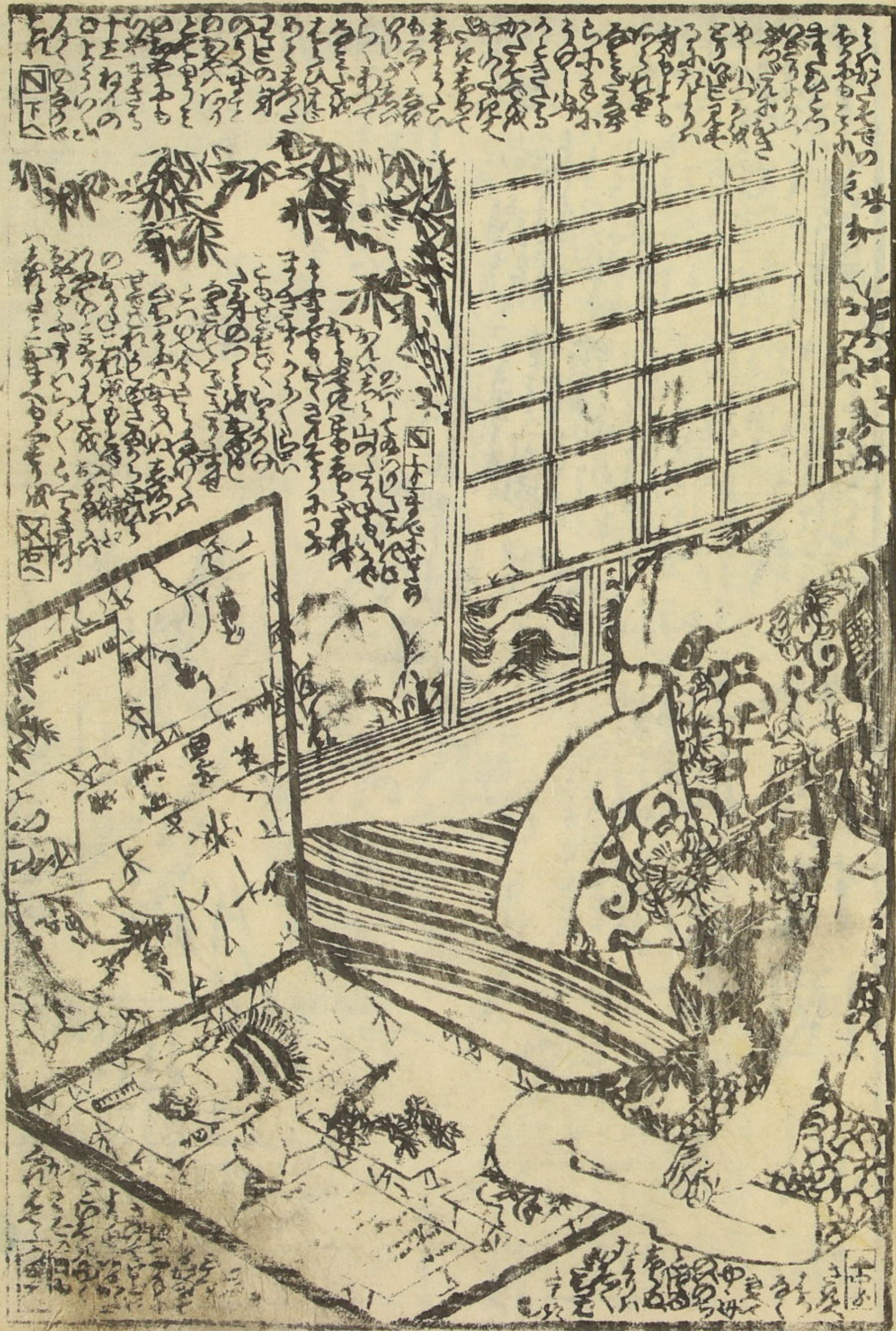




寺
ト
切



甲
イ
初





春水作國貞画

風流画半切

越前奉書紙
伊豫奉書紙

○端山 〇らん半切
〇らんを 〇らん切

任齋百圖全

洞都画

上 所帰久月

忠臣義士銘傳

右の如く... 任齋百圖全... 洞都画... 伊豫奉書紙... 越前奉書紙... 〇らん半切... 〇らんを... 〇らん切

目録包
中... 一... 〇...

當年 新板 壽おの影志

糸... 代紙...

御年... 進物... 入...

若林堂藏

